

東芝メモリグループ紛争鉱物対応方針

東芝メモリグループは、コンゴ民主共和国およびその近隣周辺の紛争、および、人身売買、奴隷、強制労働、児童労働、虐待、戦争犯罪などの非人道的行為に関わる、錫石、コルタン、鉄マンガン重石の派生物である錫、タンタル、タングステン、金の使用を禁止するよう推進します。

- 「OECD（経済協力開発機構）の紛争鉱物デュー・デリジェンスガイダンス」に従ってサプライチェーンを適切に管理していきます。
- RBA（旧 EICC）および GeSI※が開発した CMRT（紛争鉱物レポート）を利用して、サプライチェーンの調査を実施していきます。
- 今後、紛争鉱物の製錬所の監査プログラム（Responsible Minerals Assurance Process）あるいは他のプログラムの開発により紛争鉱物を完全に排除する調達方法が確立された場合には、それに従った調達取引を行います。
- コンゴ民主共和国およびその近隣周辺地域から産出された鉱物全てを使用しないのではなく、同地域における紛争などに関わらない適法に取引された鉱物は使用していく方針です。

東芝メモリグループの調達取引先の皆様も、これらの紛争鉱物対応方針にご協力いただくようお願いいたします。

※ EICC は、2017 年 10 月に RBA に名称変更しました。

GeSI:Global e-Sustainability Initiative（情報通信技術関連企業を中心としたグローバル・e サステナビリティ・イニシアチブ）